



MAINICHI



新毎日

2011年(平成23年)

毎日新聞東京本社

医療・介護のトータルヘルスケア



自十字

檢索

大震災関連記事

初の計画停電

3 · 8 · 13 · 16

異常の連鎖断てず	2
グラフ	4
日銀 追加緩和決定	5
世界フィギュア中止	12
すべてのみ込む波	14
悪夢見ているよう	15

被災地へ ネットで震災紙面

東日本大震災のため新聞が配達できなかったり、遅れたりする地域が出ていることをおわびします。被災地へ震災関連情報をお届けする手段の一つとして、当分の間、インターネットを通じて関連記事の紙面イメージを無料でご覧いただけるようにします。

ウェブサイト「毎日jp」(<http://mainichi.jp>)からご利用ください。毎日jpでは鉄道運行情報やライフラインの状況、被災された方々の安否が分かるリンク集も設置しています。 毎日新聞社

大震災で特別輸送態勢

東日本大震災のため特別輸送態勢をとりました。また「コラム」火論「時代を駆ける」や連載の一部を休みました。記事が重複する場合があります。ご了承ください。

「オビニオン」「国際」「経済」「科学」

「へび」ナビ 食べる「へび」ナビと「うぶつ」は休みました。「万能川柳」は5面に掲載しました。

万能川柳	5	くらしナビ	8
碁・将棋	5	テレビ	9
社説	7	スポーツ	12
小説	7・13	社会	13~15

購読お申し込み
配達お問い合わせ 0120・468・012

燃料棒完全に露出

3号機で水素爆発

という。経済産業省
子力安全・保安院にと
ると、原子炉内の水が
低下で露出した燃料棒

東日本大震災で、東京電力福島第一原発3号機で14日午前11時ごろ、1号機と同様の水素爆発が発生し原子炉建屋が吹き飛んだ。政府は「燃料棒のある圧力容器と格納容器は健全としている。一方、2号機では冷却機能が喪失し、燃料棒が完全に露出し、一時空だき状態になった。東電は原子力災害対策特措法に基づいて国に原子力緊急事態宣言を求めた。

【足立君子、関東晋慈】

出荷

東電によると、爆発後の午前11時44分、第1原発正門で、1時間あたり20㏞の放射線量が計測された。健康被害が生じる数値ではなく、枝野幸男官房長官は爆発後に記者会見し、「放射性物質が大量に飛び散っている可能性は低い」との認識を示した。

水を送り込むことができなくなっただのが原因とみられ、東電は同日午後4時34分、原子炉への海水の注入作業を始めた。しかし、水素爆発のために稼働できる消防車は1台のみという。1、3号機と同様の水素爆発が懸念されるが、東電は「建屋に開口部があり、水素はたまらず、爆発の恐れは低い」とみている。

余録

「地震火事方角付けという
あちこちでうられている」。
5年の安政江戸地震の2日後
者の笠亭仙果が「なるの曰

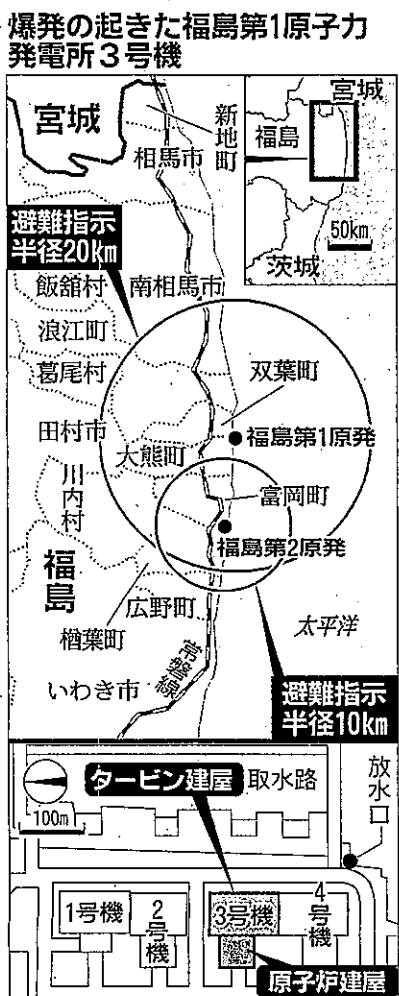
計している。「なみ」は地震。「ふた」
 とは震災の被害の状況を記した刷り物
 版である。▲翌日には方角付けの「種類
 て内容も詳しくなっているが」、「みだ
 し」、つまりでたらめが多いとある。
 の後も日々版が改められ、次第に正確
 が記されるようになり、その種類は数
 及んだ（北原糸子著「地震の社会史」
 学術文庫）。▲なかには「再々改」版を
 ながら、内容は前版と変わらないとい

3号機の水素爆発で社員4人、協力会社社員3人、自衛隊員4人の計11人が負傷した。うち男性社員23が被ばくしたが、意識はある。0人が病院などに残っていたとみられ、保安院は一時、屋内退避を呼び掛けた。現在、20以内からの避難を指示している。

後3時には同1・2時
まで低下。同日午後1
時25分、原子炉隔離時
冷却系(RCIC)と
呼ばれる冷却機能が停
止し、原子炉内に冷却

計画停電 東北電も検討

東北電力は14日、東
日本大震災による電力
供給不足を受けて、計
画停電実施の検討に入
ったと発表した。実施
時期は未定。



死者3000人超、51万人避難

不明2万人以上
被災地に寒波

東日本大震災の被災地では14日、自衛隊や警察などが搜索・救出作業を続けた。毎日新

避難所暮らしを強いられ、水や食料などの不足も深刻化している。被災地は15日以降、真送中の食料（カップめん、パン、おにぎりなど）が不足している。被災地は15日以降、真送中の食料（カップめん、パン、おにぎりなど）が不足している。

一方、気象庁はマグニチュード(M)7以上の余震が発生する確率について、14日午後1時45分ごろにM5以上の余震は少なくとも194回発生。



EX 出納帳

EX 会計



EX 出納帳  月額 380円
EX 会計  月額 1,480円